

# 日本藻類学会 50周年記念特集

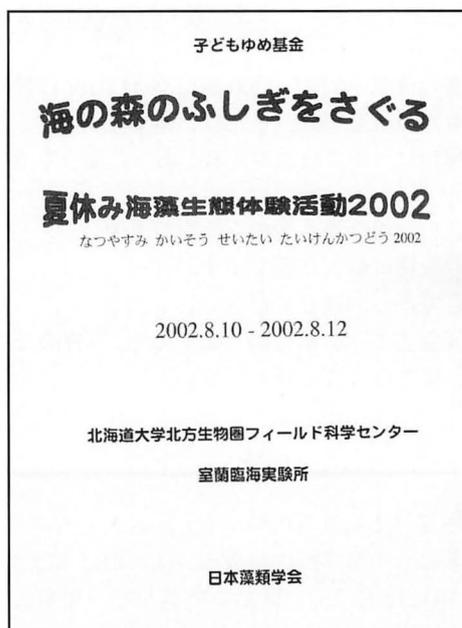
本村 泰三・堀口 健雄：

子どもゆめ寄金「海の森のふしぎをさぐる，夏休み海藻生態体験活動2002」

平成14年度子どもゆめ寄金の助成を受け、日本藻類学会50周年記念事業の一環として「海の森のふしぎをさぐる、夏休み海藻生態体験活動2002」（日本藻類学会主催、指導者：堀口健雄、本村泰三、四ツ倉典滋）を、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター室蘭臨海実験所において、平成14年8月10日（土）から12日（月）の3日間行いました。この3日間を通して、室蘭、登別、札幌在住の小学4年生から中学1年生までの生徒児童13名が参加しました。初日は子ども達に堀口・本村で作った簡単なテキストを配り、藻類について簡単な説明をした後に、実験所前浜のチャラツナイ浜で海藻採集を、実験室に戻り、押し葉標本、しおりなどを作製しました。2日目はプランクトンネットを実際に引き、光学顕微鏡で観察・スケッチした後に、こちらで用意しておいた試料を走査型電子顕微鏡観察で観察・写真撮影をしました（予想できたことではありますが、電子顕微鏡観察で好評だったのはプランクトンではなく、ハエヤダニでした）。最終日は、撮影フィルムの印画紙への焼きつけ、作製した海藻押し葉標本の整理、パウチにかけてのしおり作りなどを楽しみ、感想文を書かせた後に反省会を行いました。前もって新聞等に案内をだしたにも関わらず、意外に参加希望者が少なかったですが、子ども達には、夏休みの自由研究の宿題もりっぱに完成し、電子顕微鏡で実際に渦鞭毛藻や珪藻を観察できたことで

満足いく3日間であったことは感想文からも伺えました。最後に、今回の勉強会を行うにあたってお手伝いしていただいた室蘭臨海実験所のスタッフ・学生諸氏に感謝いたします。

（北大・北方生物圏フィールド科学センター・北大院・理）



使用テキスト



参加者集合写真